

今年度より必修科目として「歴史総合」が3年生で始まりました。近現代史を中心とした、日本と世界の関わりや諸問題を考察したり、世界史分野が広く、聞き慣れない単語についていく科目です。

苦戦しつつも、生徒たちはクラスメイトと要点整理しています。授業では生徒との対話をメインに、暗記だけではなく「自分なりこう考える」という意見形成を念頭に置いています。

こぼれ話を交えることもあるなかで、授業を通して自分の生活環境・意見を振り返り、さらに他者の主張も踏まえ、より広い視野・考え方を身に付けてくれることを期待しています。

社会科 【歴史総合】 近現代史

7月の授業をリポート!

- 社会科【歴史総合】3年生
- サイエンス創造科【理数探求】2年生
- 建築インテリア創造科【製図】1年生



【理数探求】 プロフェッサーズセミナー

1号館

サイエンス創造科2年生が、高大連携による授業のひとつとして、7月19日(金)1・2限で大阪産業大学経済学部経済学科の岡田光平先生をお招きし、「プロフェッサーズセミナー」を開講しました。「経済学部ではどのようなことを学ぶのか?」身近な例をもとに経済学とは何か知ろう!」という演題で、生徒たちは日々学習している数学が社会でどのように活用されているのかを学びました。

経済学の研究対象はお金ではなく人間の行動であること。人間の行動をモデル化することで数学を用いた理論付けができることなど、そして数列とも関係のあるゲーム理論を実際に体験し、数学が人間の行動を分析するのに活用できることを実感していました。また大学と専門学校の違い、双方のメリット・デメリットの話など、生徒にとってはとても有意義な二時間となりました。

堺市立堺高校
2024年7月



堺高校は2008年、堺市立の4校（堺市立商業高等学校・堺市立第二商業高等学校・堺市立工業高等学校・堺市立第二工業高等学校）を統合し開校

学校
見学

平日は、いつでも見学・相談を受付けています。
ご希望の方は事前に希望日時を電話にてお知らせください。
個人でもグループでも参加可能です。

サイエンス
創造科





平行定規付の製図板を40台配置した広い教室
製図板はペダルで高さ調整可能

2号館
製図室



【製図】 配置図トレース

建築インテリア創造科1年生には、必履修科目「製図」があります。配置図(敷地に対する建物の配置)をトレースします。重ねて写すのではなく、一から図面を起こし、4週間程度で完成させる課題です。

0.5mmの精度が求められるので、定規のあて方や、線の引き方に細心の注意を払いながら、高い精度で仕上げていきます。

1年生の「製図」の授業では今後、建物の

間取りがわかる「平面図」から、建物の外観を表す「立面図」、そして高さ方向の基準寸法などを表す「断面図」へとつながり、それをおよそ5週間で完成させながら、製図スキルを習得していくきます。

こうして、設計する人に、ひとつ一つの建物を、図面で伝え示すことができる力を身につけます。



建築インテリア
創造科



製図用具 セット

- ① 数字テンプレート
- ② 文字消し板
- ③ 三角定規
- ④ 製図用シャープペンシル (0.7 mm 0.5 mm 0.3 mm)
- ⑤ 三角スケール
- ⑥ 円テンプレート
- ⑦ 刷毛

